

2016年10月31日

愛知製鋼株式会社

『愛知製鋼レポート2016』を発行

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は当社グループのCSR（企業の社会的責任）に関する取り組みをまとめた『愛知製鋼レポート2016』を発行しました。

当社グループは「健全な企業活動を通じ、社会・地球の持続可能な発展への貢献をはかる」ことをCSR基本理念とし、事業活動を通じて、グローバルでCSR活動を推進しています。

本レポートでは、愛知製鋼グループの将来的なビジョンや社会とのつながり、重要課題の特定、そしてステークホルダーの声を積極的にお伝えすることを中心に、2015年度の取り組み内容や成果を具体的な事例を交えてご紹介しています。

『愛知製鋼レポート2016』の特徴は以下のとおりです。

1. 特徴

① 国際的ガイドラインG4の完全準拠にむけた取り組み（P.15～）

GRIガイドライン4.0で求められる、当社グループが事業活動を通じて取り組むべき6つの課題を特定。その解決に関する進捗および今後の対策や目標を数値化し、定量的な表現で今年度の取り組み結果と今後の目標を記載。巻末にはG4への対応状況について、対照表を設けて報告しています。

② 愛知製鋼と社会との関わり（P.11～16）

素材の限らない可能性を追求し新しい価値の創造に取り組む続ける当社が、社会にどのように貢献しているかを、イラストをまじえわかりやすく図解するとともに、当社を取り巻くバリューチェーン、ステークホルダーとの関わりを整理し、その中で生まれる課題を明確化しました。

③ 特別報告（P.7～8）

1月8日に発生した知多工場第2棒鋼工場における事故につきまして、その概要と復旧までの対応、再発防止と供給体制強化のための取り組みを掲載しました。二度とステークホルダーの皆様にご迷惑をおかけしてはならないという深い反省のもと、モノづくりのレベルを上げていくための全社横断プロジェクト「ステップアッププラン」について、概要を掲載しています。

④ 2015年度活動ハイライト（P.9～10）

2020年ビジョン実現に向けた2015年度の取り組みを紹介し、素材にこだわったモノづくりで未来に貢献していく姿を掲載しました。また、事業継続体制の強化に加え、地域のシンボルとなることを目指す「新本館」の建設着工についても取り上げています。

2. その他

本レポートは、愛知製鋼ホームページよりダウンロードいただけます。

https://www.aichi-steel.co.jp/csr/csr_report/index.html



以上